

みちしるべ

主題聖句

「そして、毎日ひたすら心をつにして神殿に参り、家ごとに集まってパンを裂き、喜びと真心をもって一緒に食事をし、神を賛美していたので、民衆全体から好意を寄せられた。こうして、主は救われる人々を日々仲間に加え一つにされたのである。」使徒言行録2章46-47節

日本福音ルーテル教会
九州教区女性会

発行代表者 原 真理

編集者 樂 満 春 子

印刷所 ヤマダスピード製版

マルコ 4:41 弟子たちは非常に恐れて、「いったい、この方はどんなのだらう。風や湖さえも従うではないか」と互いに言った。

牧師として、被災地でみ言葉を語ることの畏れを感じます。3月11日の東日本大震災の日そこにいなかった者として、何を語り、何を共にすればいいのか。神様はこの震災を通して何を語り、何をされようとしておられるのか。毎日が問いの日々でした。

しかし救援活動の中で「もし神がいるのなら助けにこい」「神はなんで大震災に沈黙しているか」「神なんていない」といった言葉を被災者から聞いたことはありません。むしろ私のほうが問うていたのかもしれない。被災者の方々がなぜ言わ



「恐れ」と「不安」に寄り添う主

大江・鹿児島
宇土・阿久根
教会牧師 立野 泰博

ないのか。今回の熊本地震ではじめて被災者になってわかることもありました。

イエス様と弟子たちは向こう岸に渡るため舟で湖に漕ぎ出しました。しかし途中で激しい突風がおこり舟は大波をかぶって沈みそうになりました。弟子たちはこの自然の猛威のなかでどうしてよいかわからなくなりしました。自分の命が危ないと思ったのかもしれませんが、イエス様は眠っておられました。しかし、弟子たちの問いに、風と湖を叱りつけるという方法で自然をおさめられました。弟子たちが一番恐れたのはそのイエス様に対してでした。

今回の熊本地震でのキーワードがあるとなれば「車中泊」だと思います。家にかえることができない。

車の中でなら安全でいられる。それだけではないようです。

東日本大震災のときには「恐れ」がテーマでした。しかし今回は「不安」です。死と向き合った「恐れ」と、余震がいつくるかわからない「不安」。これはどこが違うのか。炊き出しの数が減らない。家で休めない。この不安からの解放はいつどのようにできるのか。「恐れ」と「不安」。しかし、イエス様は大丈夫だといわれます。「安心しなさい」と言われます。

弟子たちは「いったい、この方はどんなのだらう」と驚愕しています。彼らは荒れ狂う風や湖の中にイエス様を見たのです。恐れと不安の中で、イエス様をみつめて安心したのです。いや、イエス様の御言葉をきいて安心したのです。目の前にある想定外の自然の脅威のなかで、神様と出会ったのです。私たちキリスト者の希望はここにあります。



①安否確認・被害状況の情報収集

②物資支援…神水教会を受入基地とし、

物資を必要な場所へ配送

③避難所支援

④地域支援（片付け・引越し等の支援）

⑤心の支援（カフェ・遊び場など憩いの場の提供）



4月14日と16日の熊本地震を受け、ルーテル教会九州教区では救援対策本部を設置、八幡教会の岩切雄太牧師を対策本部長とし、それぞれの教会・施設で救援活動を行っています。

熊本・大分各教会・施設の被害と現在の状況 (2016年6月末現在)

熊本教会	人的被害はなし。但し住居全壊で転居の方、ずっと車中泊で最近自宅に戻れた方等おられる。教会建物は天井や壁の剥落あり。牧師館に傾斜や破損があり。点検と修復、構造の見直しなどが必要。
室園教会	教会建物に無数の亀裂。会員宅に被害あり。近くの公的ではない避難所への炊き出し、差し入れなど行う。教会を、地域の子どもの遊び場として提供。
大江教会	礼拝堂壁一部崩落。パイプオルガン上の壁一部崩落。余震のたびに被害拡大。ママさんや赤ちゃんに特化した物資、生活支援に始まり、近隣のお母さん方への支援、阿蘇、宇城、西原村などへの物資支援を行う。現在コンサート、カフェによる心のケア、カフェデモンク、避難所訪問やボランティアの斡旋、物産販売への協力等、様々な支援プロジェクトを展開中。
神水教会	建物内外に被害あり。乳児園を被災した関係者の仮住まいとして提供。支援物資（掃除関連）の受入、配布。レインボーカフェで心の支援。
健軍教会	建物に大きな被害はなし。直後から最大50名が避難。泉が丘小学校避難所、広安愛児園などへの物資支援。教会は避難所としての働きは終了。
合志教会	教会に被害は出たが、修理済み。会員の家に、続く余震により新たな被害も出始めている。会員は大丈夫。熊本の被害がひどかったところに支援物資を送った。後方支援を続ける。
甲佐教会	会堂と旧牧師館の瓦落下と雨漏り。応急処置中。月1回の礼拝はしばらくお休みで、会員は健軍教会の礼拝に出席。4月末に会員全員自宅に戻れた。
玉名教会	教会の石垣に一部亀裂。家に住めなくなった教会員がいるが、今は落ち着いた。「できたしこルーテル」の働きに協力。
宇土教会	礼拝堂の内外四隅壁に亀裂、余震のたびに被害箇所が拡大。外壁の一部崩落、礼拝堂正面の壁一部崩落。礼拝堂、集会室は一応現状のままで使用は可能。

八代教会	被害は照明器具や壁などで軽微、修理済み。会員は大丈夫です。
水俣教会	教会にはほとんど被害なし。会員の親族に被災者。直後は生活必需品等の物資支援を行った。みな元気です。
大分教会	教会建物、敷地信徒宅に被害なし。別府教会の被災されたところの支援を行った。
別府教会	教会建物、室内での破損はなし。但し、敷地内の石垣一部崩落、後日修理予定。別府市内と湯布院で信徒さん宅 5 軒被災。うち 2 件は保険適応外になる。敷地擁壁が損傷。各 200 万円ほどの損害。湯布院の 1 軒は断水が解消されたのが 5 月 27 日。修復費用 1 千万円。人的被害はなし。
日田教会	教会建物、敷地、信徒さん宅に被害なし。物資支援を行う。支援のための献金をしている。
広安愛児園	こども L.E.C. センター内避難所は最大 400 名が屋内外に避難。6 月上旬現在で 24 名が体育館で避難生活。公的避難所。対策本部の拠点。
ライトハウス	最大 30 名が避難。6 月上旬現在で 3 家族 4 名避難。福祉避難所指定。
九州 ルーテル学院	学生を中心に最大 60 名が避難し、炊き出しなどを行った。建物に被害を受けている。
九州学院	地震当日は避難の為グラウンドを開放した。建物が危険な状態であるため、避難所は開設していないが、チア部がボランティアとして南阿蘇に赴く等、多くの支援活動をしている。
別府平和園	居住棟の浴室、洗面所、配管等に被害。地震保険から 500 万円の損害査定。
ルーテル 阿蘇山荘	被害は大きい。九州ルーテル学院として再建の方針だが、地盤が良くないので、今の建物を生かし修築するか、新たに改築するか、専門家の判断と行政からの補助金待ちの状態。教区も協力をしていく。なお今年の中高生キャンプは、長崎教会で行われる (8/10 ~ 12)。

ルーテル阿蘇山荘



九州学院

九州ルーテル学院



多くの被害が出ました。会員の皆様だけではなく、その親族の被害もあります。

現在も、続く余震、梅雨時期の大雨による土石流など、心配の種は尽きません。状況は先が見えませんが、私たちのできることを、主に祈りつつ協力していきたいと願っております。

○ 熊本地震支援募金のお知らせ ○

日本福音ルーテル教会事務局では、熊本地震災害支援のための募金をお願いしています。

振替用紙に「熊本地震①(地域生活支援)」または「熊本地震②(建築支援)」を明記して
下記の口座にご送金下さい。

■ 郵便振替 00190-7-71734
宗教法人日本福音ルーテル教会

詳しくは教会までお尋ねください。

熊本地震(2回の震度7)にあつて 室園教会 矢毛石 晴美(益城町在住)

4月14日地震は突然でした。孫娘の誕生日だったので、プレゼントを届けて帰宅し遅い夕食でした。我が家は6人家族です。食事の途中息子嫁は二歳の孫のトイレの世話で、95歳の母は早めに食事が終わり自分の部屋へ、私は途中だったけど洋服を取り換えに寝室へ行った時でした。ゴースというものすごい音と一緒に突き上げるような振動で立っていることが出来ませんでした。一瞬何が起きたか分からず掴まって立てるようになってから食堂へ行ってみると、今まで私たちが食事をしていたテーブルに食器戸棚が倒れていました。夫は二つの戸棚の間の位置に座っていたのでとっさに逃げたそうです。息子は同窓会で留守でした。もし皆がそのまま食事を続けていたら私たちは大怪我をしていたか死んでいたかもしれません。幸いにも家にいた家族は無事でした。息子に連絡が取れたのは暫くしてからでした。無事が確認できましたが、交通もマヒしていて運行していたバスに乗り遠回りして歩ける所まできて「水と食料を買ったので重いから来られるところまできて」と連絡があったので車で迎えに行きました。町は停電で暗く、暫く走ってやっと会えましたが、運転中にも震度5の地震が発生していて車ごと揺さぶられ怖い思いをしました。でも家族全員の無事が分かりホッとしました。その夜は去年新築した隣の病院で過ごしました。

朝になると室園教会の西川先生、息子嫁のご両親が八代から、夫の弟など食べ物や飲み物を持って来て下さいました。余震は何回もありましたが、落ち着くまで病院の待合室などにいることにし、夜も家から運べた少しの布団や上着を掛けて家族6人そろって寝ました。私たちが寝たころまた大きな地震がまるで布団に乗ったまま遊園地のブランコに乗っているような感じで突然来ました。隣で寝ていた夫が私をすぐ抱きしめ起こしてくれました。息子の「お父さん、お母さん靴はいてすぐ外に出るよ」という声に私たちは外に出ました。外に出ると消防団の方か役場の方かわかりませんが、3～4人の方が来て、「益城からなるべく遠くに逃げてください」と言われ、カロリーメイトとお茶のペットボトルを渡され2台の車で逃げました。息子たちと私たちの車が必ず一緒になれるように「まず、健軍神社の参道ね」「次は熊商のグランドね」と言いながら避難しました。朝から家に戻り、また少し

貴重品を持ち再び避難していると娘から連絡があり「合志は大丈夫だからすぐ来て」と言ってくれたので、それからすぐ娘家族の家に行き、近くの空き地で皆で車中泊をすることになりました。娘婿のご両親の家もすぐ側なので、車中泊の間は大変お世話になりました。95歳になる母は車中泊が大変なので娘婿がネットで飛行機を調べ福岡まで車で送ってくれ私の妹のいる名古屋へ18日避難しました。県や保険会社の調査でも我が家は「全壊」と言われ赤い紙が壁に貼られました。

その間西川先生は度々訪問してくださり、私は「家族が多いし、小さい子もいるし子犬もいるので一か所では、なかなか引越先が見つからない」とお話ししていました。地震から3週間後くらいに知り合いから取りあえず荷物だけでも運べるようにと家の紹介があり、その家を見に行く車の中で西川先生から「教会員の梶原さんてご存知ですよ。梶原さんの7部屋ある持ち家が3月に空いたそうで良かったらと言って下さっています」とお電話を頂きました。

梶原さんは、その日女性会のお仕事会があるとあって教会にいらして、西川先生から私たちが家を探していることを聞いたそうです。私たちはその足で見せて頂きすぐ決めました。内装の修理が終わる5月末まで待って、6月1日に引越をしました。引越し前に梶原さんの計らいで「和室なら荷物を置いてもよい」と言って頂きました。「できたしこルーテル」の方たちにボランティアで来て頂き、私たちが取り出せないと思っていたものやグラグラした家の二階まで入って頂き大きなものを取り出し借家に運んで頂きました。その後も「できたしこルーテル」の方達には何度も運び出しやゴミ捨てでお世話になっています。女性会の方々からも何回も慰めのお電話やご心配を頂きました。もう少し落ち着いたら母を名古屋に迎えに行く予定です。

大きな地震にあい、長年積み上げてきた物が家と一緒に壊れて無くなってしまいましたが、いろいろな人にお世話になり、神様が大事な様々な形の愛を教えてくださいました。私の永遠の棲家は、神様のところに備えられているので、今からの与えられた命を感謝して大切に過ごしたいと思います。



子どものこころに寄り添うために

「被災地の親と子どものこころのケア Q&A サイト」

開設のお知らせ



被災地の親と子どものこころのケア Q&A
<http://www.childfund.or.jp/kumamoto/>



熊本地震発生から 3 ヶ月。困難な状況への対応の中で、見過ごされやすいのが子どものこころのストレスです。こころのケアのためにも、子どもの様子がいつもとちょっと変わらないか、周りの大人たちは気をつけてあげてください。「でも、こころのケアって具体的にどうすればいいの?」「大人の方も手一杯で・・・」などの声にお応えするために、児童臨床心理の専門家によって「被災地の親と子どものこころのケア Q&A」が執筆されました。みなさまの助けの 1 つとなれば幸いです。

東京臨床心理士会 こども相談室

こども相談室では、「震災後のこどもの心のケア」などについて、子育てをしているご家族や子ども本人からの相談を臨床心理士がお受けしています。電話相談は無料。
 (通話料金はかかります)

電話番号: 03-3868-3626

受付: 火、水、金、土、日

時間: AM10~12時、PM1~4時



春の全国 ティーンズ キャンプ



神戸市立自然の家にて

3 / 28 ~ 30



小倉教会 藤延 なつみ(大学1年)

私は最後の年だからと誘われ参加しました。参加者に友達もおらず、寂しかったです。同グループの人とゲームや食事を共にし、不安だった人との交流が出来ました。

高校三年生同士最後の春キャンだからと各高校の制服を着てダンスや演劇をしました。緊張する私に優しくダンスの振り付けを教えてくれて嬉しかったです。皆の事はよく知れなかったけれど、高校三年生の皆と過ごす時間は楽しく、感謝しても足りないと思います。もっと早くキャンプに参加していれば良かったと感じました。

ケアカードは、お世話になった人全員には書けませんでした。初参加の私にカードは書かれないと思っていましたが、同級生の皆や、同室の人、同グループの人等、予想を越える人達が書いてくれたので、驚きと共に、もっと書けば良かったと後悔しました。仲良くしてくれた同グループの皆、私を輪に入れてくれた同級生の皆、お喋りしてくれた同室の皆、誘ってくれた牧師先生、運営して下さいました全ての方に感謝します。



「導かれて」 博多教会 安永 波恵



高齢者の私は最近過去を振り返る事が多くなりました。しかし、大半は忘れてしまっている有様です。原稿依頼は驚きです。文章を綴る事は得意ではありません。当然断る筈が「神の与えた試練」がよぎりペンを走らせた次第です。

今、受洗前・後の私を思い出しています。大正 15 年に生を受けた私は、戦争真っ最中に学生時代を過し、終戦の哀れさと統制が外れた自由の喜びを味わいました。そして一喜一憂しつつ、家庭と職業の二股生活から定年退職をして、引続き母・次女の病気介護、夫の突然の他界とあたふたと生活していた日々を送っていました私に長女が「教会に行ってみたら」と言ってくれて時間が与えられました。そんな時弟から博多教会を報らされ初めて礼拝に参加しました。今考えてみれば私の何処かに母・弟がクリスチャンになった心境が知りたいとの思いがきっかけだった気がします。ところが聖書は読めても理解出来なかったのです。平成 15 年に受洗しましたが、生き方については、昔教わった格言「人の一生は重荷を負いて遠き道・・・」「人事を盡して天命を・・・」等が浮んだり、ある本からは、生きるとは「自然的生命・人格的生命・エゴ（罪）」を学ぶ等様々の言葉が頭の中で錯綜し遅々とした歩みでした。核心の「神・人」「キリストの十字架と復活」「霊」を感じるようになるには牧師先生・隣人の支えを基に長い月日を要しました。

そんな時、ある機にアッと黒雲が途切れ、澄み切った青空が迫って来た瞬間が訪れたのです。神の愛を感じる事ができたのです。この愛に満たされ、私は今、卒寿に頂いた「空の鳥をよく見なさい・・・」マタイ 6：26・・・を胸に大きな神の愛と恵みに感謝する毎日です。同時に、災害に苦しむ方々を覚え、祈り続け学び進みたいと思っているのです。

長崎教会女性会再スタート！

廣瀬 美由紀

女性会が今年度復活。と言っても、牧師が不在になって3年目の小さな教会です。メンバーだけの集まりはなく、礼拝後にお茶を飲みながら、時には食事をしながら交流の時間を持っています。

熊本地震の際には女性会が主になって募金活動をし、11月3日には被災地支援のバザーを開く予定です。

今年は夏の中高生キャンプが長崎教会で開催されます。教会として協力できることを嬉しく思っています。



洗礼式の後、主幹牧師の小泉基先生と一緒に。



マイストーリー

「確固たる信仰を持って、
この道一筋で参りました。
と申し上げたいところですが、
さにあらず！」



お父様・川瀬牧師とお姉様・勝世姉の記念会にて。
総会議長の立山忠浩先生と一緒に。

八幡教会 川瀬 光世

私は、1929 年、福岡県八幡市（現在の北九州市）で、川瀬徳太郎（父）と美世子（母）の二女として生まれました。父は、ルーテル博多教会の副牧師を経て、八幡教会の牧師をしておりましたので、私は教会牧師館で育ちました。教会で育ってよかったことは、毎日曜日に通わずとも礼拝に出席ができたこと、そして、たくさんの人の集まりの中で過ごせたこと、です。

しかし、聖書に毎日触れるという環境で過ごしたが故に、聖書の言葉を実行することの難しさという葛藤が、自分の中に常にあったように思います。砂の中で生まれ、砂にまみれてどうにもならなかった、という思いでしょうか。

中学からは西南女学院に通い、信仰を共にする先生方や友人たちとの出会いがありました。戦争のため学徒動員によって工場で働くことになり、学業は一時中断されました。終戦後は再び西南女学院の英語科で学びました。宣教師の先生方の影響があったのだと思います。

しかしその後、法学部へ進み、大学の教師になりました。その仕事を結婚後も続け定年まで務めました。そのときの学生キリスト者の集まりで出会った方々やゼミの教え子たちとは今も交流があり、訪ねて来てくれることを楽しみにしています。また、大学勤務の傍ら、「いのちの電話」の活動にも携わってきました。この活動は定年退職後もライフワークとして続け、幹事を務めたり、後輩の育成にも励んでおりました。

私は牧師館で育ち、信徒の方々の献金に支えられてきました。当時の牧師家庭はそう裕福ではありませんでした。だからだと思いますが、私はお金に苦労したくないという思いで仕事を続けてきましたし、また、支えて下さった方々にお返ししようと、教会の活動や福祉等の働きを支えようと努めてきました。

私は現在、特別養護老人ホームで生活しています。というのも、8年前に脳梗塞で倒れたからです。今は、月に一度、八幡教会の礼拝出席を目標に穏やかな生活を送っています。

いろいろありましたが、信仰は確かに継承されていると思います。

九州教区女性会2015年度決算報告・2016年度予算案

	科 目	2015 年度		2016 年度	
		予 算	決 算	予 算 案	備 考
収 入	1 教区会費	364,800	376,800	1,200 円×314 名	360,000 1,200 円×300 名
	2 みちしるべ購読	23,800	23,400	200×117 部	21,400 200 円×107 部
	3 感謝献金	170,000	241,415	前期+後期 (151900・20 教会)+ 1地区、5 教会、4 個人 (89515)	160,000
	4 席上献金	50,000	84,000	総会・修養会	30,000 会長会
	5 シルバープロジェクト献金	0	19,000	5 教会	0
	6 預金利子		63		63
	7 雑収入		0		0
	8 前年度繰越金	200,361	200,361		319,689
	合 計	808,961	945,039		891,152
支 出	9 役員会費	120,000	55,120		70,000
	10 会長、役員活動費	100,000	24,774		100,000
	11 通信費	30,000	11,676		45,000 ひびき発送含む
	12 事務消耗費	30,000	36,339		40,000
	13 みちしるべ印刷、発行	130,000	114,040	97 号、98 号	130,000
	14 集会費	80,000	71,766	総会・会長会・修養会・補助	85,000 会長会・学習会 (高齢者住宅関連等)
	15 慶弔費	20,000	8,635	弔電、お見舞い	20,000
	16 支援費	160,000	160,000	ティーンズキャンプ・中高生キャンプ こどもキャンプ・青年修養会	200,000 継続し増額、 4 件各 5 万
	17 指定献金	50,000	94,000	女性会連盟・常総市水害見舞・若枝奨学金	50,000
	18 シルバープロジェクト指定	0	19,000		0
	19 連盟総会積立	30,000	30,000		50,000
	20 予備費	58,961	0		101,152
	21 次年度繰越	0	319,689		0
	合 計	808,961	945,039		891,152

2016年1月23日に日田教会 綾垣節子姉・田主丸教会 長澤キクヨ姉により監査が無事終了致しました。総会時に監査として選出された日田教会の真木澄子姉はご高齢の為辞退され、日田教会の綾垣節子姉が代行をお引き受け頂き、役員会承認とさせて頂きました。2015年12月末会計台帳残高は以下の通りです。

■一般会計 319,689 ■連盟総会積立金 269,882 ■シルバープロジェクト基金 1,190,334

連盟へ前期会費等送金一覧

連盟会費	294 名	764,400
会報購読	92 部	46,000
連盟献金		30,500
感謝献金		34,400
TNG		46,000
サバ神学生		82,500
リーストコイン		12,667
ACWC 署名キャンペーン		2,600
合計		1,019,067

九州教区女性会前期会費等入金一覧

教区会費	301 名	361,200
みちしるべ	101 部	20,200
感謝献金		72,800
シルバープロジェクト		13,000
合計		467,200

編集後記 熊本地震、大雨で被災された皆様、お見舞い申し上げます。今号は地震特集となりました。原稿や情報をお寄せいただきありがとうございました。大変励まされました。来年2月の拡大会長会でお会い出来る事を楽しみにしています。
(樂満)

熊本地震のため延期になった
拡大会長会は、来年2月に開催を予定しています。日時・会場等は決定次第、各女性会を通じお知らせ致します。

ご 召 天

田中	民子 姉	88歳	熊 本 教 会	2016年6月12日
大楠	尚子 姉	87歳	田主丸教会	2016年6月14日
佐久原	信子 姉	82歳	神 水 教 会	2016年6月24日

ご家族の皆様のうえに、主の慰めがありますよう、お祈り申し上げます。

主 な
活 動 報 告

・ 常議員会陪席

1/19 教区事務所
4/25 神水教会
6/7 教区事務所
7/19 教区事務所

・ 役員会 (第5～7回)

1/11 室園教会
3/21 熊本教会
6/11 室園教会

・ シルバープロジェクト

「いこいのみぎわ」委員会
第2刷 100部作成
1/12～2/22

・ 九州版「ひびき」発送

3/9 教区事務所

・ 春の全国ティーンズ

キャンプ支援 (5万円)
3/28～30
神戸市立自然の家

・ 会計：文書発送

4/10～11

・ 女性会連盟担当：

連盟「ひびき」第43号
編集・発注
第40回役員会出席

・ 女性会連盟合同役員会

6/21～23 仙台

・ 第99号「みちしるべ」

発送
7/18 久留米教会